

大銀杏

おいちよう

令和元年 7月16日
夏 お盆号 第2号
発行：日蓮宗圓藏寺

〒330-0054
さいたま市浦和区東岸町1-29
電話 048-882-2835
FAX 048-883-9848
ホームページ
浦和 圓藏寺 検索

親の背中を示そう

住職 齋藤義晃

『大銀杏』第二号下書きの時点では鬱陶しい雨の日が続いておりますが、発行の頃には猛暑ならぬ酷暑になる模様です。お互いに熱中症にはくれぐれも気をつけましょう。

夏と言えばお盆の季節です。詳しい説明は次ページに載せておきますので、私は近頃気付いた事を少しだけ語らせていただきました。く存じます。

最近、法事中にお経を上げながら、ふと参列者のお顔を拝見してみますと、「どうせ私には関係のないことだし…、早く終わらないかなあ」といった空気を醸し出して臨んでいる人が少なからずい



境内に永代供養墓を建立中。施餓鬼会の日に開眼供養の予定です。

らっしゃるのように感じます。折角、時間を割いて参列しているのに非常にもつたいないことだな、と思えてなりません。

早かれ遅かれ、人は必ず「死」を迎える事実を、理屈では分かっているものの、どうにも実感として受け入れられないのが本音でしょう。

幼少の頃可愛がっていたペットを失ったり、若くして愛する親・配偶者・子供に一足先に旅立たれた、などという経験を持っている人でないと、どうしても実感が湧かないのも無理からぬ事です。もちろん決して、そういう経験を踏んだ人のみを一方的に賛美する訳ではございませんので、誤解のなきようお願い致します。そのような悲しい体験を積まないうに越した事はないのですから。恐らくは「先祖」という存在について、両親や祖父母から取り立てて何も教わってこなかった事もひとつの原因であると言えます。子供は親の背中を見て育つ、一般によく言われます。私達大人は子供や孫に対して、大きくて立派な背中を見せてお手本を示す事の大切さを、真剣に考え直すべきではないでしょうか。常日頃から私達はいかなる場

面でも、ご先祖に見守られているのだから、感謝の念を忘れてはいけないよ、と繰り返し教え諭す事なら多少なりとも実践できると思うのです。

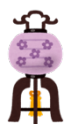
かく言う私も御仏の子（凡夫）ですが、自戒の念も込めて共に考え直していきませんか、という問い掛けをさせていただきます。何事にも感謝の気持ちを込めて、みんなまで至極自然に手を合わせられるようにしたい、と思う今日の頃です。

今年もご案内状のごとく盂蘭盆施餓鬼法要を営みますが、そのような事を思い巡らせながら参列いただけますと有り難いです。是非とも、ご先祖に卒塔婆をお立ての上、気持ちよく参拝頂きたく、心よりお待ちしております。

お盆施餓鬼会

八月二十三日（金）

十時十五分〜



秋季彼岸会法要

九月二十三日（月）

十時三十分〜



お盆の迎え方

今年もお盆の季節がやってきます。お盆のいわれ、精霊棚のまつり方を学び、ご先祖さまに感謝の想いを届けましょう。

お盆の由来

お釈迦さまの弟子である目連尊者が餓鬼界で苦しむ亡き母を救うため、僧侶の修行期間（雨安居）の終わる七月十五日に「百味の飲食五葉」を供養することによって、母親が餓鬼界の苦しみからのがれることができたと言われている『仏説盂蘭盆経』に由来します。



お盆の時期

お盆は八月のもの？

「お盆の帰省ラッシュが始まっています」毎年八月になると、そんなニュースを毎年のように耳にします。皆様の中でも「お盆＝八月」とイメージする方が多いのではないのでしょうか？しかし、お盆はもともと七月にその由来があるというお話でした。特に、七月十三日～十五日（地域によっては十六日、または七月全体）の期間を指す場合が多いようです。この時期に私たちがのご先祖様が帰ってくるのです。

あれ？ では、お盆は七月が正式なの？

明治五（一八七二）年、ここで大きな変化が起こります。この年の十二月三日に、明治政府はそれまでの旧暦から新暦へと移行したのです。つまり、旧暦の「明治五年十二月三日」を新暦で「明治六年一月一日」と改暦したのです。

今までやってきた祭礼や行事はいつしたらいいの？

人々は混乱しました。そして、その出した答えこそ、お盆の時期がいつなのか曖昧な理由なのです。人々が出した答えは大きく分けると三つありました。

人々の三つの答え

① 「七月盆」 新暦の七月に行う

改暦に従い、旧暦七月十五日のお盆を新暦の七月十五日に行ったのが「七月盆」。これは、以前よりも早い時期にお盆を迎えることになりました。都市部が中心となって新暦を採用していった為、現在でも東京など都市部では新暦の七月がお盆となるのです。

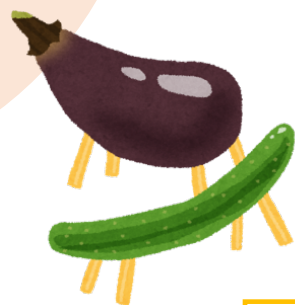
② 「八月盆（月遅れの盆）」 新暦の八月に行う

旧来の時期になるべく合わせてお盆行事を行おうとしたのが「月遅れ」の「八月盆」です。旧暦七月十五日のお盆を新暦八月十五日にすることで対応をとったのです。これを「旧盆」ということがありますが、本来は正しい言い方ではないのがご理解いただけるかと思えます。他にも、新暦の七月中旬は、まだ梅雨が明けきらず、農村部では農作業の関係上、お盆どころではなかったことも理由の一つにあげられます。

③ 「旧盆」あくまで旧暦のまま盆を迎える

旧暦の七月十五日をお盆としたのが、「旧盆」となる訳です。これは当然、新暦に照らしてみると毎年日付は変わります。今でも沖縄などでは旧暦で行われることが多いようです。

大切なことは…自らのご先祖さまを迎えるお盆はいつなのか、地域・家庭で大切にできた事はどうか、それをしっかりと知っていく事なのです。大切にご先祖さまをどうぞ本年も温かくお迎えください。



奉納感謝

「扇風機」立川談慶様

(落語立川流真打)

「掃除機」小野利恵子様

(寺ヨガ講師)

有難うございます。
大切に使用させていただきます。

行事報告

「ボーイスカウト講習会」

六月二十二日



ボーイスカウト宗教章(仏教章)の取得講座第二回目が円藏寺を会場に行われました。

当日は、七名の隊員が朝からお寺に集まり、隔月で開催している「開運落語会」の会場設営を中心にカリキュラムが進んでいきました。立川談慶師匠へのお茶出しや落語会の受付、他にも法話や太鼓の練習なども経験し、現代のお寺のあり方を学びました。

本の紹介

「開運落語会」でお馴染みの立川談慶師匠の十一冊目になる著作が発売されました。日蓮宗のことにもたくさん触れてくださっています。



『できる人はゲンを担ぐ』

神宮館 1,500円+税



ご先祖さまをお迎えする精霊棚のまつり方の一例です。地域や各家庭によって様々ですが、ぜひ参考にいただき、ご先祖さまをお迎えください。

①ほおずき・笹竹

ご先祖さまの道案内となるよう、灯明の代わりにほおずきを吊します。笹竹に貼られた縄から内は、「この中にご先祖さまが来られる」という結界を表します。

②お供物

ご霊膳には、果物や野菜をお供えします。その他にもご先祖さまの好きだった物などをお供えし、心を込めてご先祖さまをお迎えしましょう。

③真菰(まこも)

壇には荒むしろ、真菰などを敷きます。

④溝萩(みそはぎ)

灑水盤(蓮の葉)に入れた水を、「溝萩」に含ませて、

⑤の「水の子」に注ぎます。これは煩惱を鎮めるためだと言われています。

⑤水の子

ナスやキュウリを賽の目に切ったものと洗米を混ぜ、蓮の葉の上に盛りつけます。④と同じく煩惱を鎮めるためのお供え物と伝わります。

⑥キュウリの馬とナスの牛

キュウリの馬は、ご先祖さまが少しでも早く帰って来て頂くために、ナスの牛はゆっくりお戻り頂くためにお供えします。



埼玉管内 行事めぐり

行事案内

●七面山登詣修行

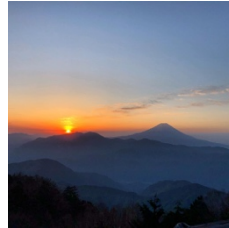
九月十日(火)～十一日(水) 一泊二日
山梨県七面山

参加費・二〇〇〇〇円

締切・八月二十日

主催・埼玉県布教師会

身延山の西方にそびえたつ七面山。お題目を唱え自己を見つめる祈りの道を皆様と歩みます。



●護法回参り団体参拝のお誘い

十月九日(水)～十日(木) 一泊二日

千葉県小湊 誕生寺・妙蓮寺

参加費・二九〇〇〇円

締切・八月末日

主催・埼玉県宗務所

令和三年には日蓮大聖人がお生まれになり八百年の節目の年を迎えます。埼玉県内の檀信徒で共に、大聖人がお生まれになった地を巡る旅です。



◎七面山・護法回参の詳しいご案内は、お寺にございます。ご要望の方はお声掛けください。お申し込みは円藏寺にて一括で承りますので、参加希望の方は寺務所までご連絡下さい。是非ご一緒に参拝いたしましょう！

信行会のご案内

初めてお経を読む方も大歓迎



約三十五年ぶりに復活した円藏寺の信行会【護持正法会】です。皆さんとご一緒にお経を読み、仏事についてのあれこれや、仏様の教えについて学びましょう。後半では、お茶を飲みながらみんなでおしゃべり。檀家さんでなくても、年齢問わずどなたでもご参加いただけます。お気軽にお越し下さい。

【日時】
毎月八日
午前十時～十一時半頃
※大法要の月は、そこに準ずる。

【参加費】千円
【申込み】不要
【持ち物】お経本・数珠
※お寺でご購入できます。

【年内の予定】

八月二十三日

お盆施餓鬼会

九月二十三日

秋季彼岸会

十月八日

月例信行会

十一月三日

高祖お会式

十二月八日

月例信行会

申込不要



寺子屋円藏寺 学びと憩いの

オレンジカフェ

8/28(水) 9/25(水) 10/30(水)

◎毎月最終水曜日 13:30～15:30

参加費 300円

簡単な写経・お茶会・トピックス 他

写経会

8/3(土) 9/9(月) 10/15(火)

10:00～11:45頃

参加費 基本無料 ※納経料 (1,000円)

※2回目以降継続される方は写経セット (4,000円) をご購入ください。

☆法務の関係で急遽日程を変更する場合がございます。詳細はホームページをご覧ください。お問い合わせください。

立川談慶『開運落語会』

第14回 8/5(月)18:00～

第15回 10/4(金)18:00～

参加費(布施) 2,000円 未就学児入場不可

※落語の前に毎回ご祈祷がございます。

小野利恵子のかんたん寺ヨガ

8/2(金) 8/16(金) 9/3(火) 9/26(木)

10/11(金) 10/25(金) 10:00～11:05

参加費 700円

持ち物 ヨガマット or バスタオル